

3) 余川 茂 他9名共同校閲：Captopril selected précis from the world literature on treatment of heart failure. 加藤和三監修, Excerpta Medica 1985.

内 科 学 (3)

教 授	佐々木	博
助 教	井 上	恭 一
講 師	田 中	三千雄
講 師	小 島	隆
助 手	市 田	隆 文
助 手	藤 倉	信 一 郎
助 手	樋 口	清 博
助 手	紺 田	健 彦
助 手	康 山	俊 学
助 手	青 山	圭 一
助 手	山 崎	徹 弘
文部技官	桑 原	芳 弘

◆ 著 書

1) 佐々木博, 井上恭一, 市田文弘: 肝硬変。「臨床肝臓病講座」第2巻, 織田敏次, 市田文弘, 志方俊夫他編, 329—347, 金原出版, 1985.

2) 井上恭一: 肝疾患。「消化器内科治療ハンドブック」大柴三郎, 市岡四象他編, 135—138, 南山堂, 1985.

3) 井上恭一, 樋口清博, 佐々木博: 原発性胆汁性肝硬変の全国統計。「原発性胆汁性肝硬変」島田宜浩, 粕川禮司他編, 3—10, 日本医学館, 1985.

◆ 原 著

1) Sasaki H., Inoue K., Higuchi K., Yasuyama T., Koyata H., Kuroki T., Yamamoto S. and Ichida F.: Primary biliary cirrhosis in Japan: National survey by the subcommittee on autoimmune hepatitis. *Gastroenterologia Japonica* **20**: 476—485, 1985.

2) Inoue K.: Comparative study of chronic hepatitis. Histological differences between Japan and England. *Gastroenterologia Japonica* **20**: 222—228, 1985.

3) Inoue K., Kojima T., Koyata H., Matsui S., Aoyama K., Konda K., Ichida T. and Sasaki H.: Hepatitis B virus antigen and antibodies in alcoholics. Etiological role of HBV in liver diseases of alcoholic patients. *Liver* **5**: 247—252, 1985.

4) Koyata H., Inoue K. and Sasaki H.: Activities and electrophoretic profiles of alcohol dehydrogenase and aldehyde dehydrogenase in human liver tissues. *Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence* **20**: 395—409, 1985.

5) Van Steenberg W., Kojima T., Geboes K., Desmet V., Marchal G., Baert A., Frevery J. and de Ggroot J.: Gastric leiomyoblastoma with metastases of the liver A 36-Year follow up study. *Gastroenterology* **89**: 875—871, 1985.

6) 佐々木博, 市田文弘, 山本祐夫, 黒木哲夫, 井上恭一, 樋口清博, 康山俊学, 古谷田裕久: 原発性胆汁性肝硬変, 全国調査集計結果(第四報). 厚生省特定疾患難治性の肝炎調査研究班, 昭和58年度研究報告: 11—16, 1985.

7) 佐々木博, 松井俊二郎, 青山圭一, 小島隆, 井上恭一: B型および非B型慢性肝炎における肝内浸潤リンパ球 subsets の免疫電顕的研究. 厚生省特定疾患難治性の肝炎調査研究班, 昭和58年度研究報告: 34—40, 1985.

8) 佐々木博, 柴田 貢, 小島 隆, 青山圭一, 井上恭一: A型急性肝炎の肝細胞障害機序に関する研究. 電子顕微鏡的ならびに酵素抗体法による T cell subsets の検討. 厚生省肝炎研究連絡協議会, 昭和58年度研究報告: 70—74, 1985.

9) 佐々木博, 井上恭一, 小島 隆, 紺田健彦, 高嶋清次, 松井俊二郎: 医療従事者における年令別 HA 抗体保有率の年次別推移について. 厚生省肝炎研究連絡協議会, 昭和59年度研究報告: 65—68, 1985.

10) 佐々木博, 井上恭一, 小島 隆, 紺田健彦, 高嶋清次, 松井俊二郎: A型劇症肝炎における肝内HAVについて. 厚生省肝炎研究連絡協議会, 昭和59年度研究報告: 68—70, 1985.

11) 佐々木博, 市田文弘, 山本祐夫, 黒木哲夫, 井上恭一, 樋口清博, 康山俊学, 古谷田祐久: 原発性胆汁性肝硬変全国調査集計結果(第五報). 厚生省特定疾患難治性の肝炎調査研究班, 昭和59年度研究報告: 16—25, 1985.

12) 佐々木博, 松井俊二郎, 青山圭一, 宮林千春, 小島 隆, 井上恭一: 原発性胆汁性肝硬変における胆管病変成立機序に関する免疫組織学的検討. 厚生省特定疾患難治性の肝炎調査研究班, 昭和59年度報告: 105—111, 1985.

13) 田中三千雄, 野尻裕之, 佐々木博: 十二指腸潰瘍とプロスタグランディン. *Therapeutic Research* **2**: 55—63, 1985.

14) 田中三千雄, 藤倉信一郎, 坂東 毅, 高嶋清

次, 佐々木博: 消化器疾患に対する CS-650 の臨床効果, 薬理と治療 3: 1693—1700, 1985.

15) 田中三千雄, 竹本忠良: 蛋白漏出性腸症の小腸内視鏡像, 胃と腸 20: 759—772, 1985.

16) 小島 隆: 肝細胞核内 δ 抗原, 一免疫電顕による検討一, 肝臓 26: 1251, 1985.

17) 小島 隆, Desmyter J., Desmet V.J.: δ 抗原の肝細胞内局在一免疫電顕による検討一, 消化器と免疫 15: 195—197, 1985.

18) 小島 隆, 松井俊二郎, 青山圭一, 佐々木博: 肝組織内浸潤リンパ球の染色, 肝胆臓 11: 927—934, 1985.

19) 市田隆文, 白鳥康史: ラット培養 Kupffer 細胞における細胞骨格の立体構造, 肝臓 26: 1098, 1985.

20) 樋口清博, 井上恭一: シンポジウム「がんと免疫」原発性肝癌および肝硬変症における natural killer (NK) 活性の検討, 日本内科学会雑誌 74: 1011, 1985.

21) 藤倉信一郎: 終末回腸の Peyer 板に関する研究(第2報)臨床統計学的検討, Gastroenterological Endoscopy 27: 326—336, 1985.

22) 紺田健彦, 康山俊学, 中野 護, 井上恭一, 佐々木博, 北川正信: 脳内白血病性腫瘍を合併した急性骨髄性白血病の1例, 臨床血液 26: 206—211, 1985.

23) 島田一彦, 藤倉信一郎, 野尻裕之, 小島 隆, 田中三千雄, 佐々木博: 正常ヒト終末回腸および十二指腸球部における孤立型リンパ小節の形態学的ならびに免疫組織化学的検討, 日本消化器病学会雑誌 82: 1337—1347, 1985.

24) 東 貢, 紺田健彦, 小島 隆, 中野 護, 井上恭一, 佐々木博, 井本 勉: 各種肝疾患における IgM 型 HBc 抗体測定 of 臨床的意義, 消化器科 2: 248—259, 1985.

25) 七沢 洋, 米川元樹, 中沢郁生, 西坂 剛: 低出力光を用いた光化学療法の研究, 日本レーザー医学会誌 5: 97—101, 1985.

26) 七沢 洋, 米川元樹, 中沢郁生, 西坂 剛: Total Internal Reflection Fluorescence 法を応用した選択的蛍光測定, 日本レーザー医学会誌 5: 453—456, 1985.

27) 七沢 洋, 米川元樹, 中沢郁生, 西坂 剛, 小沢哲磨: 学生実習中に発生した Pulsed Nd: YAG Laser による網膜損傷事故の1例, 日本レーザー医学会誌 5: 485—488, 1985.

28) 高原照美, 田中三千雄, 舟木 淳, 井田一夫,

坂東 毅, 稲土修嗣, 若林泰文, 渋谷 隆, 野尻裕之, 島田一彦, 藤倉信一郎, 佐々木博: 食道微小平滑筋腫の2例, Gastroenterological Endoscopy 27: 381—388, 1985.

29) 近藤信一, 桜川信男, 宮際 幹, 市田隆文, 佐々木博: 食道静脈瘤塞栓術施行時にみられたトロンビン・ショックの1例, 最新医学 40: 608—611, 1985.

30) 三好秋馬, 佐々木博也: 胃潰瘍に対する TZU-0460 の有用性の検討—gefarmate を対照薬とした多施設二重盲検試験—, 診療と新薬 22: 1069—1089, 1985.

31) 三好秋馬, 佐々木博: 十二指腸潰瘍に対する TZU-0460 の有用性の検討—gefarmate を対照薬とした多施設二重盲検試験—, 診療と新薬 22: 1091—1110, 1985.

32) 島田宜浩, 市田隆文, 市田文弘: 非 A・非 B 型肝炎の腹腔鏡所見—赤色紋理を中心とした検討—, Gastroenterological Endoscopy. 27 1569—1579, 1985.

33) 吉井克己, 田中三千雄: Cisplatin が著効を示した食道癌肝転移の1例, 癌と化学療法 12: 2216—2211, 1985.

34) 宮崎あゆみ, 藤倉信一郎, 田中三千雄: 若年性ポリープの1例, 小児科臨床 38: 2639—2642, 1985.

35) 齊藤清二, 樋口清博, 佐々木博: Chenodeoxycholic acid (CDCA), ursodeoxycholic acid (UDCA) 併用投与による胆石溶解療法の経験—CDCA 単独投与例との比較—, 診療と新薬 22: 3027—3033, 1985.

36) 三好秋馬, 佐々木博他: TZU-0460 の胃潰瘍に対する有用性の検討—cimetidine を対照薬とした多施設二重盲検試験—, 診療と新薬 22: 2897: 2918, 1985.

37) 三好秋馬, 佐々木博他: TZU-0460 の十二指腸潰瘍に対する有用性の検討—cimetidine を対照薬とした多施設二重盲検試験—, 診療と新薬 22: 2919—2939, 1985.

38) 中野 護, 井上恭一, 佐々木博, 寺沢捷年: 桂枝湯の T cell subsets, mitogen 活性におよぼす効果について, 和漢医薬学会誌 1: 94—95, 1984.

39) 稲土修嗣, 佐々木博: 部位別にみた十二指腸絨毛形態の特徴, 消化と吸収 7: 67—69, 1984.

40) 石井兼次, 井上恭一他: 慢性膵炎に伴う自覚症状および触診所見に対する trepibutone 錠の治療効果—二重盲検法による flopropione 錠との比較—,

臨床と研究 61: 3405—3426, 1984.

◆ 総 説

- 1) 佐々木博: δ抗原と肝細胞癌. 医学のあゆみ 132: 477—478, 1985.
- 2) 佐々木博: 肝内胆うつ滞. 臨床医 11—1322—1323, 1985.
- 3) 佐々木博: 胆汁性肝硬変. 臨床医 11: 1929—1330, 1985.
- 4) 井上恭一: 原発性胆汁性肝硬変. Medical Companion 5: 621—625, 1985.
- 5) 井上恭一: Asymptomatic PBC (無症候性原発性胆汁性肝硬変). 消化器科 3: 299—307, 1985.
- 6) 井上恭一: 糖尿病と肝疾患. 現代医療 17: 1333—1336, 1985.
- 7) 井上恭一, 小島 隆, 佐々木博: 慢性肝炎の成立と臨床. クリニカ 12: 743—746, 1985.
- 8) 小島 隆, 宮林千春, 佐々木博: 肝疾患におけるサイトケレトン 肝汁うつ滞. 肝胆臓 11: 751—756, 1985.

◆ その他

- 1) Kojima T., Callea F., Desmyter J. & Desmet V.J.: Immunoelectron microscopic study of hepatitis delta antigen (HDAg) in hepatocytes. Hepatology 5: 957, 1985.
- 2) 井上恭一: 私の処方. Medical Tribune 18: 18, 1985.
- 3) 藤沢 洩, 佐々木博: 慢性肝炎をめぐる. Kanebe Medic, 病態シリーズ(22), ウイルス肝炎: 45—52, 1985.
- 4) Kubota Y., Kobayashi &, Tanaka M., Sasaki H.: Identification of motilin-producing cells of human duodenum using protein A-gold technique, J Clin Electron Microscopy 17: 806—807, 1984.
- 5) Miyabayashi C., Matsui S., Ichida T., Inoue K. and Sasaki H.: Ultrastructural changes of biliary epithelial cells and basement membrane in primary biliary cirrhosis. J. Clin. Electron Microscopy 17: 1041—1042, 1984.

◆ 学会報告

- 1) 野尻裕之, 田中三千雄: シンポジウム「十二指腸潰瘍をめぐる諸問題」内視鏡による治癒判定の問題点とその対策. 第29回日本消化器内視鏡学会総会, 1985, 5, 東京.
- 2) 稲土修嗣, 井上恭一: シンポジウム「肝疾患と消化管病変(食道静脈瘤はのぞく)」肝硬変症における十二指腸炎の内視鏡的特徴. 第30回日本消化

器内視鏡学会総会, 1985, 10, 松江.

- 3) 藤倉信一郎, 島田一彦: ワークショップ「パリエル板の機能と病態」パリエル板および孤立性リンパ濾胞の形態学的分類とその機能に関する研究. 第27回日本消化器病学会大会, 1985, 11, 松山.
- 4) 清水幸裕, 佐々木博: ワークショップ「肝細胞培養の基礎と応用」成人初代培養肝細胞を用いたB型肝炎ウイルス感染実験の試み. 第27回日本消化器病学会大会. 1985, 11, 松山.
- 5) Kojima T., Callea F., Desmyter J. and Desmet V.J.: Immunoelectron microscopic study of hepatitis delta antigen (HDAg) in hepatocytes. 36th Annual Meeting of the American Association for the Study Liver Diseases (AASLD), 1985, 11, Chicago.
- 6) Inoue K., Kojima T., Higuchi K., Sasaki H. and Imoto T.: Superinfection of HBV Carrier with Hepatitis A Virus. International Synposia on Peptic Ulcer and Hepatitis, 1985, 11, Matsuyama.
- 7) Inoue K., Kojima T., Higuchi K., Aoyama K., Matsui S., Konda T., Sasaki H. and Imoto T.: Superinfection of hepatitis B surface antigen carrier with hepatitis A virus. International Symposium on Chronic Hepatitis, 1985, 11, Taipei.
- 8) 井上恭一, 紺田健彦, 東 貢, 南部修二, 高嶋清次, 小島 隆, 佐々木博, 辻 孝夫: B型肝炎ウイルス(HBV)感染症における各種感染指標の動態について. 第82回日本内科学会総会, 1985, 4, 名古屋.
- 9) 康山俊学, 小島 隆, 古谷田裕久, 青山圭一, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木博: 肝疾患における肝組織中のCu, Zn-SODの局在に関する検討. 第71回日本消化器病学会総会, 1985, 5, 札幌.
- 10) 青山圭一, 小島 隆, 松井俊二郎, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木博: 各種慢性肝疾患における肝細胞および胆管上皮細胞のHLA抗原表出についての免疫組織学的検討. 第71回日本消化器病学会総会, 1985, 5, 札幌.
- 11) 島田一彦, 藤倉信一郎, 稲土修嗣, 窪田芳樹, 小島 隆, 佐々木博: 終末回腸のPeyer板と孤立リンパ小節におけるMacrophageおよびDendritic cellの免疫組織化学的検討. 第27回日本消化器病学会大会, 1985, 11, 松山.
- 12) 南部修二, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木博: HBs抗原陽性各種肝細胞内B細胞内B型肝炎ウイルス(HBV)DNAの存在様式. 第71回日本消化器病

学会総会, 1985, 5, 札幌.

13) 小島 隆, Desmyter J., Desmet V.J.: δ 抗原, 免疫電顕による検討. 第21回日本肝臓学会総会, 1985, 6, 米子.

14) 樋口清博, 中野 護, 清水幸裕, 青山圭一, 松井俊二郎, 市田隆文, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木博: 肝細胞癌におけるNK活性—OKシリーズ・単クローン性抗体による検索—. 第21回日本肝臓学会総会, 1985, 6, 米子.

15) 古谷田裕久, 康山俊学, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木博: ヒト肝生検組織におけるアルコール脱水素酵素とアルデヒド脱水素酵素の活性測定およびアイソザイム解析. 第21回日本肝臓学会総会, 1985, 6, 米子.

16) 宮林千春, 高原照美, 小島 隆, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木博: 総胆管結紮ラットにおける胆管上皮細胞の微細構造の変化およびVI型コラーゲンとラミニンの局在に関する免疫組織学的検討. 第21回日本肝臓学会総会, 1985, 6, 米子.

17) 康山俊学, 紺田健彦, 古谷田裕久, 宮林千春, 南部修二, 清水幸裕, 青山圭一, 松井俊二郎, 樋口清博, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木博: 電解式組織血流量计による肝組織血流量測定の見解. 第30回日本消化器内視鏡学会総会, 1985, 10, 松江.

18) 七沢 洋, 坂東 毅, 野尻裕之, 島田一彦, 井田一夫, 藤倉信一郎, 田中三千雄, 佐々木博, 西坂剛: 内視鏡的マイクロ波凝固療法とその効果. 第30回日本消化器内視鏡学会総会, 1985, 10, 松江.

19) 七沢 洋, 田中三千雄, 佐々木博, 米川元樹, 中沢郁生, 西坂 剛: 内視鏡的マイクロ波凝固法の基礎的研究(II), 第29回日本消化器内視鏡学会総会, 1985, 5, 東京.

20) 窪田芳樹, 齊藤清二, 渋谷 隆, 西村信行, 佐々木博: 第17回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1985, 9, 名古屋.

21) 古谷田裕久, 康山俊学, 井上恭一, 佐々木博: 四塩化炭素誘発肝硬変ラットにおけるアルコール脱水素酵素とアルデヒド脱水素酵素. 第20回日本アルコール医学会, 1985, 10, 京都.

22) 七沢 洋, 野尻裕之, 島田一彦, 藤倉信一郎, 田中三千雄, 佐々木博, 西坂 剛: 光化学療法の基礎的研究(II)—殺細胞効果の波長依存性—. 第6回日本レーザー医学会大会, 1985, 10, 久留米.

23) 紺田健彦, 小島 隆, 南部修二, 高嶋清次, 東 貢, 井上恭一, 佐々木博: B型慢性肝炎患に観察されるHBsAg/IgM complexの抗ウイルス療法による影響. 第20回日本肝臓学会西部会, 1985,

11, 大阪.

24) 大森聖一, 康山俊学, 井上恭一, 佐々木博, 吉村菜穂子, 井上雄吉, 若木邦彦: SIADHを伴い, 多彩な神経症状を呈したacute polyradiculoneuropathyの1剖検例. 第126回日本内科学会北陸地方会, 1985, 3, 金沢.

25) 山崎 徹, 滝浦文明, 野尻裕之, 青山圭一, 松井俊二郎, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木博: 乳糜腹水を伴ったB cell lymphomaの1例. 第127回日本内科学会北陸地方会, 1985, 6, 金沢.

26) 稲土修嗣, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木博, 飯田博行, 大橋市郎: 多発性動脈炎の1例. 第129回日本内科学会北陸地方会, 1985, 11, 名古屋.

27) 土田敏博, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木博, 齊藤清二, 真保 俊, 田澤賢二, 若木邦彦, 小泉富美朝: 長期観察し得た肝原発ホジキン病の1剖検例. 第56回日本消化器病学会北陸地方会, 1985, 6, 富山.

28) 元尾南洋, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木博: 胆嚢水腫で発見された原発性早期胆嚢管癌の1例. 第58回日本消化器病学会北陸地方会, 1985, 12, 金沢.

29) 窪田芳樹, 稲土修嗣, 井田一夫, 佐々木博: TAE療法によって出血性潰瘍が消失した放射線大腸炎の1例. 第57回日本消化器学会北陸地方会, 1985, 11, 名古屋.

30) 国立裕之, 高松正剛, 清水達夫, 中嶋健一, 松井俊二郎, 小島 隆, 井上恭一: 血中HBs抗原陰性, HBs抗体陽性にもかかわらずHBe抗原が持続陽性を示す1症例. 第20回日本肝臓学会西部会, 1985, 11, 大阪.

31) 高嶋清次, 中山義秀, 山崎 徹, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木博, 三輪淳夫: 肝生検が診断に有用であったB cell lymphomaの1例. 第20回日本肝臓学会西部会, 1985, 11, 大阪.

32) 坂東 毅, 山崎 徹, 藤倉信一郎, 佐々木博, 保苺市郎, 藤巻雅夫, 野田 誠, 三輪淳夫: 腸管閉塞を初発症状としたB cell lymphomaの1例. 第3回日本血液学会北陸地方会, 1985, 7, 金沢.

33) 高嶋清次, 山崎 徹, 矢崎明彦, 南部修二, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木博: Myelomegakaryoblastic crisisを来したprimary myelofibrosisの1例. 日本血液学会昭和60年度東海・北陸合同地方会, 1985, 11, 名古屋.

34) 稲土修嗣, 藤倉信一郎, 土田敏博, 佐々木博, 高橋洋一, 島崎圭一: 経内視鏡的狙撃標本の浮遊液沈渣により, 確診し得た大腸結核の2症例. 第45回

日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1985, 6, 富山.
35) 七沢 洋, 田中三千雄, 藤倉信一郎, 佐々木博, 西坂 剛: 経内視鏡的マイクロ波凝固法に関する基礎的研究. 第45回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1985, 6, 富山.

36) 坂東 毅, 高原照美, 月城孝志, 井田一夫, 田中二千雄, 佐々木博: 食道粘膜下腫瘍に対する内視鏡的切除術の適応—超音波内視鏡の意義に関する考察—, 第45回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1985, 6, 富山.

37) 松崎恒一, 藤倉信一郎, 佐々木博, 中尾義広, 飯田博行: 内視鏡的に経過観察できた Schönlein-Henoch 紫斑病による虚血性小腸炎の1例. 第46回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1985, 12, 金沢.

38) 斉藤清二, 渋谷 隆, 西村信行, 山崎国男, 佐々木博: 膵癌培養細胞のレクチン結合性. 第71回日本消化器病学会総会, 1985, 5, 札幌.

39) 大島 章, 村垣泰光, 唄 安夫, 松本英作, 井上恭一, 佐々木博, 小幡賢一, 岩田和士: 血清プロリン酸化酵素を指標とした肝線維化の発症・進展の子知. 第21回日本肝臓学会総会, 1985, 6, 米子.

40) 川真田聖一, 高屋憲一, 沢田石勝, 笹川五十次, 窪田芳樹, 藤倉信一郎: 人の2種の肥満細胞と付随細胞との間の細胞膜の微細構造の特徴. 第17回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1985, 9, 名古屋.

41) 川島猛志, 山崎 徹, 市原和俊, 佐々木博, 小泉富美朝: 特異な経過をたどった高齢者急性白血病の1例について. 第39回北陸医学会総会, 1985, 9, 福井.

42) 浅香充宏, 飯田博行, 篠山重威, 寺菌公雄, 野尻裕之, 藤倉信一郎: 膠原病類縁疾患を伴った Osler 病の1例. 第127回日本内科学会北陸地方会, 1985, 6, 金沢.

43) 井本 勉, 松本秀敏, 東 郁夫, 井上恭一: 慢性的経過中に著しいシェーブを起こし急速に肝不全に陥ったルポイド肝炎と肝癌の発生をみたルポイド肝炎の2剖検例. 第20回日本肝臓学会西部会, 1985, 11, 大阪.

44) 明元克司, 青山圭一, 小泉富美朝, 中村国雄: 再生不良性貧血様所見を合併した胃癌の1例. 第46回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 1985, 12, 金沢.

45) 西野主真, 奥野政一, 増山淳子, 井上恭一, 藤巻雅夫, 中村 功, 滝沢久夫: A型亜型と考えられる1例. 第3回日本輸血学会北陸支部会総会, 1985, 10, 富山.

46) 小島 隆, Desmyter J., Desmet V.J.: δ

抗原の肝細胞内局在: 免疫電顕による検討. 第15回消化器と免疫研究会, 1985, 2, 東京.

47) 康山俊学, 小島 隆, 古谷田裕久, 青山圭一, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木博, 柴田 太, 荻田善一: 各種肝疾患における肝組織中のCuZn-SODの局在に関する検討. 第16回消化器と免疫研究会, 1985, 8, 東京.

48) 稲土修嗣, 渋谷 隆, 斉藤清二, 藤倉信一郎, 井上恭一, 佐々木博, 伊藤 博: 胆道狭窄をきたした十二指腸潰瘍の1例. 第6回富山消化器病研究会総会, 1985, 10, 富山.

49) 高嶋清次, 紺田健彦, 南部修二, 樋口清博, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木博: 特異な抗原抗体系の反応を示したHBV持続感染症の2例. 第16回北陸肝胆道疾患懇話会, 1985, 3, 金沢.

50) 古谷田裕久, 康山俊学, 井上恭一, 佐々木博: 肝生検組織を対象としたアルコール脱水素酵素とアルデヒド脱水素酵素の解析法. 第5回「アルコール代謝と肝」研究会, 1985, 4, 東京.

51) 南部修二, 井上恭一: HBs抗原陽性各種肝疾患における肝内HAV DNAの存在様式について. 第6回放射性同位元素実験施設利用者研究発表会, 1985, 3, 富山.

52) 清水幸裕, 樋口清博, 松井俊二郎, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木博: 成人初代培養肝細胞を用いたB型肝炎ウイルス感染実験. 第1回初代培養肝細胞研究会, 1985, 6, 徳島.

53) 中山義秀, 若林泰文, 青山圭一, 松井俊二郎, 井上恭一, 佐々木博, 高橋 薫, 小泉富美朝: 胆道系酵素の著明な上昇を来した悪性細網症の1例. 第16回北陸肝胆道疾患懇話会, 1985, 3, 金沢.

54) 愛場信康, 井田一夫, 坂東 毅, 井上恭一, 佐々木博, 増子 洋, 伊藤 博: 薬剤治療が無効であった球後部潰瘍の2例. 第6回富山消化器病研究会総会, 1985, 10, 富山.

55) 坂東 毅, 島田一彦, 野尻裕之, 田中三千雄, 佐々木博: 胃壁5層構造の描出の条件—プローベと胃壁の位置関係について—. 第44回日本超音波学会, 1984, 6, 東京.